

健やか ぐんま

Sukoyaka Gunma

vol. 4
2014.

Spring!

特集

健康づくり財団診療所のご案内 P2-3

ベセスダシステムについて P4

医師コラム

～リスクマネジメントに係る国家規格について～ P5

財団からのお知らせ P6-8

- 各種研修会等開催しました
- 平成 26 年度市民講座・交流茶話会 開催のお知らせ
- 入館方法変更のお知らせ
- 新人紹介
- 財団組織図 (H26.4.1～)



公益財団法人 群馬県健康づくり財団

群馬県健康づくり財団診療所のご案内

定期健診で早めの発見、早めの対処を



「財団って、人間ドックが受けられるんだってね。」ときどき聞かれることがあります。
そこで、群馬県健康づくり財団の診療所を紹介させていただきます。新規採用職員の感想も聞いてみました。

信頼できる健診だから、多くの方に選ばれています

受診者
年間1万人
以上

内視鏡検査の
実施数年間平均
4,500件
以上

2名の
医師による
ダブルチェック
(精度管理)

マンモグラフィ
撮影
スタッフは
全員女性

化粧室▶



▼トイレ



更衣室



受付



明るくていい雰囲気だね～！
気持ちよく受けられそう。なんだかホテルみたい。



この椅子リラックスしすぎて
寝ちゃいそ〜。

技師さんが女性で
ホッとしたね！



胃内視鏡検査待合室

- リラックスできる椅子を用意しました。
- 胃カメラは、全例高水準消毒薬による自動機械洗浄消毒を行っています。

検診マンモグラフィ撮影認定放射線技師による撮影です。毎週水曜と金曜の午後は女性のための検査が受けられるので、健診が一日で行えます。

オプション検査も充実しています。

日帰り人間ドック

各種検診

- 定期健康診断
- 特定健診
- 前橋市個別健診
- 生活習慣病予防検診
一般健診・付加健診
- 各種がん検診



女性のため

- 子宮頸がん検診（細胞診・内診）
- 乳がん・甲状腺がん検診
（視触診・エコー・マンモグラフィ）
- 卵巣腫瘍マーカー

その他

- 前立腺がん（PSA）
- ピロリ菌（ピロリ菌抗体価）
- 胃がんリスク検診（ABC検査）
- 骨粗しょう症（骨塩量検査）
- メタボCT（内臓脂肪量）



ふくふく弁当



いろいろなものが入っていて
美味しそう！

水・金曜日の午後に女性のオプション検査をお受けいただく方には財団の管理栄養士・保健師とお弁当屋さんが共同開発したお弁当をお出ししています。減塩と栄養バランスに配慮したヘルシーなお弁当です。

診療所スタッフ



みんなやさしそうで安心！

お問い合わせ 各種健診、検査のお申し込み

電話：027-269-7813

〈完全予約制です〉

FAX：027-269-7803

予約受付時間：午前9：00～午後5：00

（土日、祝日、年末年始は休みです）

検診日：月曜日～金曜日

※女性のための追加コース（子宮頸がん・乳がん検診）は水・金曜日のみとなります。



ベセスダシステム

について



これまで子宮頸がん検診の細胞診の結果は、日本産婦人科医会が作成した日母分類（Ⅰ．Ⅱ．Ⅲa．Ⅲb．Ⅳ．Ⅴに分けられたクラス分類）が広く用いられてきましたが、検診の精度管理向上のため、より詳しい推定病変の記述が必要となってきました。

これまで結果分類は、クラス分類またはベセスダシステムによることとしていましたが、「がん予防重点健康教育及びがん検診のための指針の一部改正（平成25年3月28日付け厚生労働省健康局長通知）」により、世界標準であるベセスダシステムによって分類することになりました。

群馬県では、平成22年4月からベセスダシステムによる結果分類を導入し、平成25年度までは暫定的に日母分類と併記してきましたが、平成26年度からはベセスダシステムのみによる結果報告様式になります。

●「日母分類（クラス分類）」とベセスダシステム表記の対応表

ベセスダシステム	日本語表記	：用語説明	日母分類	判 定
NILM	陰性	：異常を認めない	I . II	異常なし
■扁平上皮系異常				要精密検査
ASC-US	意義不明な 異型扁平上皮細胞	：異形成と言いきれないが細胞に 変化がある	II－IIIa	
ASC-H	HSILを除外できない 異型扁平上皮細胞	：高度な細胞異型の可能性があり が確定できない	IIIa. IIIb	
LSIL	軽度扁平上皮内病変	：HPV感染や軽度異形成と考えら れる	IIIa	
HSIL	高度扁平上皮内病変	：中等度異形成、高度異形成、 上皮内癌(早期がん)と考えられる	IIIa. IIIb. IV	
SCC	扁平上皮癌	：明らかな扁平上皮癌と考えられる	V	
■腺系異常およびその他の悪性腫瘍				
AGC	異型腺細胞	：腺系の細胞に異型を認める	III	
AIS	上皮内腺癌	：上皮内腺癌と考えられる	IV	
Adenocarcinoma	腺癌	：明らかな腺癌と考えられる	V	
Other malig	その他の悪性腫瘍	：扁平上皮癌、腺癌以外の悪性腫 瘍と考えられる	V	

当財団では不適検体を最小限にするため、平成26年4月より液状化検体標本作成装置を導入しました。それに伴い使用する採取器具は、これまでよりも多くの細胞を広範囲に採取できる利点があるブラシに変更しました。詳しくは、次号「健やかぐんま」で特集いたします。

リスクマネジメントに係る国家規格について

公益財団法人 群馬県健康づくり財団 技監 高橋 健郎

1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災をきっかけとして、同年10月に危機管理システム規格検討委員会が設置され、1996年8月に日本標準化法に基づく標準情報（テクニカルレポート）の第1号であり、ISO9000シリーズ（品質管理システム）やISO14000シリーズ（環境管理システム）と同様のシステム規格でもあり、危機（クライシス）管理に係るシステム規格であるTRZ0001-1996が公表されました。

その後1998年4月には、危機管理はリスク管理に含まれるという考え方により危機管理システム規格検討委員会はリスクマネジメント規格委員会に改組され、2001年にリスクマネジメントに係る国家規格であるJISQ2001が公表されました。2010年9月にはJISQ2001が廃止されJISQ31000（国際規格ISO31000の翻訳版）が公表されています。

JISQ31000の正式名称は日本工業規格JISQ31000：2010「リスクマネジメントー原則及び指針」（Risk management-Principles and guidelines）であり、その内容は①原則（組織の全員が念頭に置くべき論理的考え方及び行うべき活動の原則）、②枠組み（組織の全てにおいてリスクマネジメントを効率よく運用するための体制整備）、③プロセス（リスクを認識し対処していく過程）により構成されています。

リスクの定義については、JISQ2001では「その事象がいつ顕在化するかが明らかではないという発生の不確実性があり、その事象が顕在化すると、好ましくない影響が発生するもの」とされていましたが、JISQ31000では「目的に対する不確かさの影響」（期待されていることから好ましい方向または好ましくない方向に乖離すること）と示す範囲が拡大されています。

そしてリスクマネジメントについては、リスクに関して組織を指揮統制するための調整された活動と定義され、別個の実行プロセスであるリスクアセスメント（その時点での情報と想像力で不確実な未来を予測する業務）とリスク対応（プロジェクトマネジメントと同様の手法であり、限られた期間と経営資源のもとで目的を達成する業務）により構成されるとしています。

リスクアセスメントには①リスクの特定（組織の目標に影響を与えるリスクの検出を行う、不足や偏りがあると次の分析と評価の精度が低下）、②リスクの分析（「起こりやすさ x 影響の度合い」等からリスクレベルを比較検討して根拠、精度を定性的、定量的、半定量的に示す）、③リスクの評価（リスクの受容可能性やリスク対応の優先順位を検討する、意思決定の支援プロセス）の三段階があり、最終的にリスク対応のための判断材料を意思決定者に提供します。

リスク対応は、対応の終わりを定義したうえで、リスクアセスメントのアウトプットと過去の経験の有無から意思決定者の指示を受けてリスクを調整（リスクの回避、リスクテイク、リスク源の除去、起こりやすさの変更、結果の変更、リスクの共有、リスクの保有）します。

JISQ31000は他のマネジメントシステムを統合するアンブレラ規格として位置づけられており、すべての組織とすべてのリスクに適用されることが望まれています。

群馬県民を対象とした公衆衛生活動を行う機関のひとつである健康づくり財団では、全ての業務を含んだリスクマネジメントを行って参ります。

平成25年度(第1回) 地域保健研究発表会 開催しました

平成26年3月18日(火)
群馬県庁281会議室において、群馬県と当財団の主催により平成25年度(第1回)地域保健研究発表会が開催されました。

今回は、139名が参加し、14名の演者が日頃の研究成果を発表されました。

また、平成26年度(第2回)の開催に向けて、アンケートにご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。より有意義な発表会にできるよう参考にさせていただきます。



群馬県がん患者ミーティング2013-2014 開催しました

みんなでつないだ命のリレー ～リレー・フォー・ライフ・ジャパン2013ぐんま参加報告～



平成26年3月8日(土)群馬県健康づくり財団において、群馬県がん患者団体連絡協議会主催の「群馬県がん患者ミーティング2013-2014」が開催されました。リレートークでは、リレー・フォー・ライフ・ジャパン2013ぐんまのスライドショーがあり、イベント当日強風のためなかなか灯りを灯すことが

できなかったルミナリエの幻想的な映像や、会場の様々な場所での様子を見ることができました。また、サバイバー交流テントでの貴重な出会いなどについて発表があり、リレー・フォー・ライフというイベントがサバイバーにとって、勇気や元気をもらうことができる貴重な場であることを、改めて感じることもできる時間になりました。

平成26年度 健診推進員研修会 開催しました

平成26年3月5日・6日の2日間、当財団6階会議室で健診推進員の研修会を開催しました。運転技師、保健師・看護師、臨床検査技師、診療放射線技師、事務職員148名が出席し、事業概要、接遇について研修を行いました。また、長年勤務をしていただいた方を紹介し、功労賞を授与しました。



全体研修の後、特定健診、各種がん検診別に分かれ、認定資格を持った職員や外部講師を招き実践に沿った専門研修を行い、4月から始まる健診に備えました。

臓器移植推進室から

院内コーディネーター研修会 開催しました



平成26年3月19日（水）午後1時から、当財団の6階会議室で、平成26年度第2回院内コーディネーター研修会を開催しました。

各病院の院内コーディネーター32名とその他病院関係者2名の34名が参加しました。

研修内容は、（公社）日本臓器移植ネットワークからの報告、症例発表、グループディスカッションを行いました。グループディスカッションでは、「脳死とされうる状態をいかに行うか」「院内体制をどう確立するか」「献腎・献眼を増やすためには」の3つのテーマにわかれてディスカッションを行い、各グループとも積極的な意見交換が行われました。今後の臓器移植推進のため有意義な研修となりました。



平成26年度 市民講座・交流茶話会 が開催されます

平成26年6月14日（土）群馬県がん診療連携拠点病院連絡協議会・群馬県の主催で市民講座が開催されます。市民講座終了後には、群馬県がん患者団体連絡協議会が交流茶話会を行います。是非お気軽にご参加ください。

日 時：平成26年6月14日（土）13：30～16：30（開場13：00）

会 場：群馬会館（前橋市大手町2-1-1）群馬県庁の駐車場をご利用ください

※参加は無料です。事前の申し込みの必要はありません。当日直接会場にお越しください。

プログラム

- 教育講演 「ここまできた大腸がんの最先端治療」
群馬大学大学院医学系研究科がん治療臨床開発学講座
特任教授 浅尾 高行 先生
- 特別講演 「毛髪・脱毛の知識と抗がん剤使用による脱毛対策」
国際毛髪科学研究会 会長 井上 哲夫 先生
- 交流茶話会 どなたでも自由に参加いただけます



昨年の交流茶話会の様子

お問い合わせ：TEL 027-220-7854 群馬大学医学部附属病院 医事課

新 人 紹 介

- ・名前：^{あおき ひさこ}青木 久子
- ・所属：総務部 総務課
- ・今後の抱負など一言

皆さんの健康の推進の為に頑張っていきたいと思います。



- ・名前：^{まえはら あやか}前原 彩花
- ・所属：総務部 企画広報課
- ・今後の抱負など一言：皆様の心身の健康づくりのお手伝いができるよう、日々頑張っていきたいと思います。

- ・名前：^{たぐち ともか}田口 朋佳
- ・所属：健診部 臨床検査課
- ・今後の抱負など一言
利用者の方が安心して受診できる、臨床検査技師になれるよう頑張ります！

お願い

個人情報管理のため 入館方法が変更になりました

平成25年12月20日～

当財団は、個人情報適切に管理する体制を確立するために、様々な取り組みを行っているところですが、セキュリティを強化するため、入館管理を実施しております。

皆さまにはご迷惑をおかけしますが、個人情報保護の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い致します。

入館方法

- 入館できる場所は、正面玄関からの1か所のみです。
- 診療所にて各種健診を受診される方は、診療所受付にお進みください
それ以外の来所者の方は、入口受付にお進みください。
- 入口受付にて、用件をお話いただき、受付簿に必要事項をご記入ください。
- その後については、受付でご案内いたします。



財団組織図

